

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)311141
印刷所 旭印刷
電話(水俣)34101番

津奈木



文化の拠点・つなぎ文化センター

新しい年を迎え、町民各位におかれましては、心新たな毎日をお過ごしのことと存じます。
さて、津奈木町も新しい節目を迎えて、初めての新年となりました。日本の政治、経済の情勢は混沌として、その将来像は仲々見えません。小さな我が町にとっても、こうした動きは決して無縁ではなく、確実に行政そのものがやりにくくなっています。
そうした厳しい社会状況にあつて、唯一、私達の気持ちの持ち方次第で、元気になる分野があります。それが文化です。町の人が、毎日を生き／＼と暮らしていけるか否か、そのポイントが文化が握っています。厳しい不況下で、私達の生活の質は下げざるを得ませんが、そういう時にこそ、お互いが気持ちを自分の内に向け、地にしっかりと足のついた精神性を身につけ、生活をしてゆきたいと思



西川町長

年頭にあたって

津奈木町長

西川 裕

この町誌の資料につきましては、散逸を避けるためにもきちんとした資料集として残したいと考えています。
また、昨年は、長年の懸案でありました町誌が発行され、各家庭にお配りすることが出来ました。資料研究、編集に携った方々に、心から敬意と感謝を表したいと思います。
彫刻と絵画に代表される美術の分野は、他の市町村に誇り得るものが出来つつあると思っています。さらに充実を図っていきます。
また、昨年は、長年の懸案でありました町誌が発行され、各家庭にお配りすることが出来ました。資料研究、編集に携った方々に、心から敬意と感謝を表したいと思います。
この町誌の資料につきましては、散逸を避けるためにもきちんとした資料集として残したいと考えています。
また、昨年は、長年の懸案でありました町誌が発行され、各家庭にお配りすることが出来ました。資料研究、編集に携った方々に、心から敬意と感謝を表したいと思います。

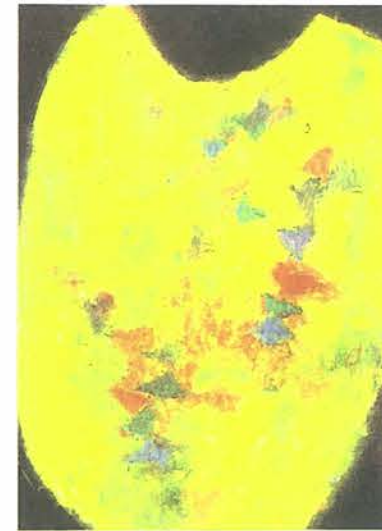
人を差別する意識があれば！ —水俣・芦北地区社会同和教育研修会—

人は皆平等に幸せな生活を送ることが憲法で保障されている。だが、大事な一人一人の権利を傷つけていることはないだろうか。
十二月八日、水俣で同和教育研究会があり、話し合いが行われた。
心のどこかに人を差別する意識があれば、必ず、言葉や態度に出てくる。差別する人が気付かないでも、された人の気持ちはどんなだろう。相手の身になって考え、見ていく心を育てたいのです。自分が相手と同じ身になって考えていく事が大事と思うのです。目の不自由な人は何の都合で見えなくなったのであって、その人の人格や尊厳は他の人と全く同じであると言います。それなのに、「メクラ」と言う人がまだ居るとは本当に残念です。
「俺は武士の出だぞ」と言う人がまだ居る。武士も農民も皆、平等となったのは明治からで、以来、百年以上経つても、頭の中は徳川時代の人が居るのは何故だろう。



研修会での話し合い

一人一人の心の中を変えていくこと(これを自己変革と言う)が大事であり、差別のない社会を築くことになると思う。



油彩

「E」

1980

境野一之作

山がちの国に棲む我々の民と、見渡す限りの平原に棲む彼の民とは、心の持ち様も違うのであろうか。春、夏、秋、冬、それぞれの季節に、花を生み、緑を生み、実を生み、落葉を生み、表情をかえていく山を、親しく呼びかけつつ、時にはおそれつつ、暮らしている。

庁舎美術館 (51)

寄贈お礼

貴重な資料等の提供をお願いしましたところ、大泊地区の津々木ツユさんから左の写真と外に一枚提供していただきました。
資料館で大事に保存したいと思ひます。有難うございました。



三太郎駅伝大会に応援下さい

一月九日スタート



昨年度の大会の様子

本町通過予定時刻は次のとおりです。

総合グラウンド 10時25分
新川橋 10時30分
中学校前 10時35分
千代斎魂碑 10時45分
なお、本町代表選手は次のとおりです。
(補欠含)
松永 進・川野又男・川口 香・林田祐一・福田 必・森山 広行・倉野義彦・宮嶋弘行・平野新市・藤原審二・田口伸二・諫山幸太郎・前田守康・斎藤拓己(監督) 浜本繁己・(コーチ) 鶴野賢二・新立 広・新立 啓介

成人式御案内

平成六年の成人式は、文化センターで一月三日(月)の午前10時から開催します。成人者の皆さん誘い合わせて参加して下さい。
(受付) ●午前9時から10時まで ※受付は早めをお願いします。
(内容) ●主催者、来賓等の祝辞 ●祝舞 ●成人者代表謝辞 ●ふる里紹介(スライド) ●成人者自己紹介 ●記念撮影等

※服装は普段着のままで参加して下さい。

親子「たごあげ」参加者募集

日時 平成6年1月23日(日) 午前10時から11時40分まで
場所 津奈木総合グラウンド
(次の各賞を準備しておきます)
高とび賞・大型賞
小型賞・ファミリー賞
アイデア賞・じんご賞
曲芸賞・地引賞等
(お待ちしております)

昨年の十一月下旬、郡公連で公民館管外研修が行われ、三町で総員三十名、本町から館長或は区長さん方十二名の参加があった。

県北の鹿北町に出かけての研修で、まず、町全体の公民館活動についての説明があった。四十六の分館を有し、「小さな親切」運動宣言の町として明るい町づくりに努力しているとのこと。また、生涯学習にも力を入れ、広域セミナーの実施、各種学習講座への婦人層のパワーは大変すさまじいものがあるそうだ。

次に、地域公民館の活動について説明があったが、本町の自治公

公民館活動は心のつながりが大切

鹿北町での研修



鹿北町中央公民館

民館の現状に鑑み、多くの収穫があり、特に、東野分館長のお話しは参考になる点多く、ここにその概要を紹介したい。

①活動の基本理念について
心のつながりを大切にしながら地域に密着した事項をふまえて行事の企画、運営にあたっている。実践目標を設定したら、必ずその具体化が大切である。

②常会の運営について
事前に役員会を開き、充分検討して提案するのでスムーズに、また、家庭への浸透をめざすため議題を配布している。

③「国民の祝日」の趣旨放送について、地域住民にわかりやすく解説した内容を作り、放送で流し徹底を図っている。

活動に当っては、情性に流されず、和気と新鮮味を大切に、日新月异の気持で、心のつながりは運営の視点であると強調された。



活発な授業風景

この話を通して作者がいたかったことは、一体なんだとしたのでしよう。戦争時代の苦しみを「二十四の瞳」で表わし、書いている



P T A活動で栄えの受賞

このたび、町中の元村久美さんは県PTA連副会長としての活躍が認められ、日本PTA全国協議会会長より感謝状を、青少年の健全育成に努力したことで熊本県知事より表彰状を受賞されました。

本町におめでとうございまして。本人は受賞の喜びを次のように話しておられました。

学ばせていただいた上に、このような賞をいただき恐縮いたしました。



賞状を手にした元村久美さん

高年齢者と子どもたちとのふれあい
平国小の大収穫祭

平国小の敬老ばちもち会が十一月二十八日、地区のお年寄りを招いて体育館でありました。六年生十九名が夏休みから練習を重ねていた地区の伝統芸能・六方踊りの初披露には盛んな拍手が送られました。児童は、お年寄りの方々に足半、水鉄砲、竹馬、お手玉の作り方を習ったり、一諸に遊んだりしました。お年寄りの方からは、餅投げ、踊り、歌のプレゼントがありました。楽しいふれあいができました。



足半作りを習う子どもたち

健康教育の成果を発表

十一月三十日、赤崎小学校で県教育委員会指定の健康教育研究発表会が開催されました。

参加者は管内外より百二十名の先生方、PTA関係を含めて百五十名を超える盛会ぶりでした。

県教委の先生方から、赤崎小の若い先生方の授業に対する意気込みが素晴らしいとの感想が述べられ、また、健康教育に欠かせない学校と家庭との連携もスムーズに行われていると好評でした。



読書感想文「二十四の瞳」を読んで

津奈木中 1年 折木 紀子

ような気がしました。大石先生の言葉一つ一つが作者の気持ちであり、考えや主張でもあり、戦争時代のおそろしさ、そして命の尊さをたくさんの人に教えてあげたかったのかもしれません。

戦争を知らない人たちに、大石先生と十二人の生徒のできごと一つ一つが感動的で戦争のおそろしさをも教えてくれました。

大石先生がみんなに好かれる理由が、明るく、そして生徒のためになにかをし、本当に心から生徒のことを大事に思っていることだからだと思います。

たくさんの人に勇気を与えてくれた、そんな大石先生が、素敵に思え、大石先生に教わった十二人の生徒は、すごく幸せだと思います。そして、長い間、ずっと信じ合えてきたことが、すごくすくすばらしいことだと思います。

そして、この本を読んで、本当に心から感動したので、もっとたくさんの人にこんな機会に読んでほしいと思います。この本を読んで本当に良かったと思いました。

成人者名簿

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名
竹 中	山 崎 良 二 山 崎 夏 樹 津々木 久 美	町 中	白 濱 和 哉 元 村 り え 山 下 京 美	倉 谷	中 山 忠 林 郁 郎 前 田 正 紀	平国下	松 本 好 鬼 塚 恵 美 野 崎 恵 美
染 竹	鶴 野 泰 幸 松 田 ル ミ 宮 嶋 あ ず さ	新 川	宮 田 文 丸 山 真 理 子 濱 本 友 紀	上下門	福 島 勲 門 崎 健 一 伊 藤 利 恵 子	日 当	濱 田 あ ゆ み 濱 田 和 美 山 口 美 晴
浜 崎	浦 口 典 弘 木 戸 貴 典 林 博 幸 森 山 純 二 岡 下 福 利 前 坂 泰 士 溝 部 夏 恵 大 園 し の ぶ 永 田 育 子 小 坂 真 紀	古 川	濱 本 邦 和 川 崎 千 春 松 崎 美 穂 曾我部 和 幸 柳 迫 誠 司 鬼 塚 浩 彦 西 敦 代 吉 野 里 子 佐々木 由 子 百 原 美 樹 柳 迫 恵 美	川 内	福 田 慎 悟 福 田 祐 三 山 石 博 福 山 さ お り 野 崎 奈 美 濱 田 京 子 長 濱 利 恵 濱 田 伸 吾 福 山 俊 輔 濱 田 輝 久	日 添	上 村 修 司 森 本 英 雄 岩 崎 和 孝 森 山 誠 士 森 本 リ エ 松 田 愛 子 森 山 貴 子 村 尾 利 宝 篠 原 勝 男 開 田 光 幸 宮 島 陽 子 川 崎 ふ み 高 木 志 穂 開 田 美 保 永 松 和 浩 濱 本 高 寿
桜 戸	中 石 田 知 謙 中 村 貴 之 二 宮 島 陵 彦 山 口 慶 郷 吉 本 洋 平 沢 田 智 稔 秋 田 稔	中 尾	鳥 居 秀 生 森 下 尚 志 汾 陽 弘 慎 本 田 一 誠 原 野 一 広 本 田 真 一	平国上	平国下	小津奈木	

成人おめでとう

二十一世紀に向けて羽ばたく若人たち



下川 博文

「成人」と言っても、人生の一つの通過点にしか過ぎません。今からは未成年だった頃の規制がなく、「自由」と言う身になります。逆に自分にかかる責任も重くなり、本心に一つ一つに責任をもった行動をとっていかなくてはなりません。



林 博幸

また、自由という立場を活かし、いろいろなことにチャレンジできる年代になった今、二十一世紀を担う私達若者が積極的に活動し、今以上に社会が良くなるようやっていかなければなりません。

そして、私自身、常に目標をもってこれから頑張っていきたいと思います。

早いもので今年もう成人式を迎える事になりました。ついこの間まではまだ学生で就職先がどんな所なのかと、不安と喜びで気分が満ち溢れていました。あれからもう二年。自分としては何の進展もなく少しでも会社の為にと入社しながら、今だに伸び悩んでいる自分が恥ずかしくなりません。これからは一人の大人として、今までの学生気分を捨て、今までできなかったこと、取り組みなかつた事を存分にやっていくつもりです。

命令、指示を与えられず自分で動ける様、自立できればと思います。

成人になって私の決意



楠本 恵美

つる事を慎重に考え行動し、またその行動を反省したり、納得して自信をつけていく。そういう人間になりたいと私は思う。不安もあるが期待もある。そんな複雑な心境の成人第一歩はあるが、その第一歩を順調にきき足から踏み出したいものである。



吉野 里代

早いもので、今年成人をむかえることになりました。今まで育ててくれた両親に感謝しています。高校を卒業、就職していろいろなことを経験し、たくさんの方を学びました。仕事に対して、他の人にも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある人になりたいと思っています。まだまだ未熟な面もありますが、これからたくさんの方の励ましで、多くの人から慕われる大人になりたいと思っています。

ここに、こんな人が...

工夫して作る楽しさ
上門の門村 蔵さん(74)
門村さんは、ダンス、フスマ、障子等指物作りにすぐれた腕前の持ち主である。そこで、趣味、特技を生かし、更に研究心、好奇心が手伝っていろいろなものに取組んでいる。菊づくりは弟さんが長崎県知事賞を受賞されたのが刺激になって昭和六十年頃から始めたのである。



作品を前にした門村さん

石付け、木付け、懸崖作り、三本仕立て等の盆栽を作っている。現在まで数多く育て、毎年町文化祭に出品されていることはご承知の通りである。よい作品を生み出すためには、台風に對する備え、土壌、堆肥等の改良に不断の努力が必要になってくるそうである。瓢箪も大きいものを作り、知人に配付し喜ばれている。また、竹細工もいろいろ考案し、状さし、新聞さし、花さし等工夫されたものが数多くある。最近では竹トンボ作りに熱中しているそうである。スーバー竹トンボと云って頭に目がついているのが特長。手作りで次々に改良されていくのが一層興味を増しているようだ。

自然の資源を利用し、それに自分の力を加えて作るこの楽しさ、喜びを実感しているという。今後更に工夫を重ねていきたいと意欲満々である。

また、道路の分岐点などには道路記念碑が建てられている。硬の前に立つとき、草の生い繁った細道を



重盤岩眼鏡橋

※次号からは個別に詳しく記述していくことにします。

最近想うこと

おも 松原 保男

夫人も働いており、農業、漁業、サービス業に於ても夫婦共働きである。と云える。そして、ご夫人は仕事を終えてから、炊事、洗濯、掃除その他の家事が待っている。その間、男性は晩酌、テレビ、ごろ寝と家事労働に於て雲泥の差がある。夫人も働いており、農業、漁業、サービス業に於ても夫婦共働きである。と云える。そして、ご夫人は仕事を終えてから、炊事、洗濯、掃除その他の家事が待っている。その間、男性は晩酌、テレビ、ごろ寝と家事労働に於て雲泥の差がある。

「男やめ」にならないために世のご夫人方に対し、思いやりと行動を起せば必ず良い反応があり、家庭円満で高齢化社会を楽しく過せるものと信じている。

私も、風呂の準備、掃除、布団の上げ下げ等出来ることから少しづつ実動に移しつつある今日此の頃である。

「次笠」伸び盛り、腕だめし
一笠二句づつ 二月十日まで
つなぎ文化センターへ。

学習講座に参加して思うこと

つわぶきセミナー

セミナーに参加して早や二年、実践的な講話を始め、山鹿古墳博物館等の現地研修が実施され、石器土器に古代人の生活が偲ばれた。日輪寺の精進料理、八千代座も急ぎ足の見学でしたが、帰路のバスの中は笑顔が一杯でした。研修の度に私達に夢と活力を与えてくれる。寒中青々と葉を張るつわぶき、このセミナーに元気で参加し続けたいと思う。(竹本辰義)



あけぼの学習

学習会に参加させて頂いているお蔭で、多方面にわたって勉強することが出来ます。こうして参加することが、ひいては助け予防にもなるのではないかと思いますので、今後も参加し



書道

「い、んじやないですか」「バツチリ」高見先生のはめ言葉が聞かれるこの頃。九月教室開始当時は墨のすり方、筆のつかし方、持ち方、一人一人手をそえ、ユーモ



たいと思っております。年間の計画等で、ご苦労もあらうかと思いますが、続けて開催されることを希望します。(前田正敏)

英会話

(津田良子)

地域の人の出会いが、親子共に、英語に対する興味を持てる時間を過ごせるようになったことが大きな成果です。年令差はありますが、時間の許される方は参加してみませんか?...



ちぎり絵

月に一度の教室ですが、待ち遠しく思い乍ら三年になります。先生の説明を聞き乍ら、和氣あいあいの中に季節に合った作品が出来上り、とても楽しい一時がア



社交ダンス

日頃の運動不足を解消しようとダンス教室に参加しました。最初はある程度かという不安もあり、ただステップを踏むことで一杯だったのが、二回、三回と回を重ねることで、軽やかに老いも若きも集って楽しく和氣あいい



押し花

園芸種の豪華な花、紅葉の美しい葉だけでなく、名前も知らない野草の花に関心が向き、植物を観察する視点が以前と大きく変わったような気がします。

これまで見向きもしなかった野草の可憐な美しさ、生命力の強さなどの再発見。この野草のすばらしさを押花のなかに表現できたらと思っているところです。(広松靖子)



着物着付

私は全くの初心者で、着付が自分でできたという軽い気持ちで参加したため、最初は分からない事ばかりで、不安が強かった。しかし、回数を重ねると上達していくのが実感でき、面白さが増してきた。現在では、他人に着せられる資格を取れたらと思っ



(鶴野達雄)



絵画

毎月第一、第四日曜日が開通しく感じます。絵画教室は十名足らずの会員の集いが、野首地区出身の宮崎健三先生が声北町より来て熱心に指導して下さいる姿に会員一同敬意を表するものです。絵が上達する事は願っているが、それよりも仲間同志で互に研鑽し合える事もプラスになるものと信じて続けているのです。